

令和6年10月18日
独立行政法人環境再生保全機構

研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)
令和6年度公募 研究開発責任者の決定について

内閣府が実施する「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (以下「BRIDGE」という。)」において、環境省が担当し独立行政法人環境再生保全機構 (理事長：飯塚 智、以下「ERCA」という。) が公募を実施した施策の研究開発責任者が決定しました。

BRIDGE は、「研究開発と Society5.0 との橋渡しプログラム運用指針」(平成29年5月29日ガバニングボード決定)に基づき、各省庁の研究開発等の施策のイノベーション化 (SIP や各省庁の研究開発等の施策で開発された革新技术等を社会課題解決や新事業創出、ひいては、我が国が目指す将来像 (Society 5.0) に橋渡しするための取組をいう。) につなげるため、官民研究開発投資拡大が見込まれる領域における各省庁の施策の実施・加速等、研究開発だけでなく社会課題解決等に向けた取組を推進するプログラムとして実施されています。

今回、施策1「金融/投資機関による自然関連情報開示促進と国際標準化を前提としたネイチャーフットプリントの開発と実証事業」、施策2「ネイチャーポジティブ経済移行戦略を踏まえた、各セクターにおけるルールメイキングと市場創造のための戦略検討促進事業」及び施策3「バリューチェーン循環性指標及び企業情報開示スキーム等の国際標準化」を実施する研究開発プロジェクトの研究開発責任者について公募を行い、公募締め切り後、ERCA に設置した選考・評価委員会において選考を実施しました。その結果に基づき、研究開発責任者8名が決定いたしました。(別紙1)

<添付資料>

別紙1：令和6年度公募 採択研究開発プロジェクト及び研究開発責任者

別紙2：令和6年度公募 選考・評価委員会名簿

<お問い合わせ先>

独立行政法人環境再生保全機構 環境研究総合推進部 SIP 推進課

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310番 ミューザ川崎セントラルタワー9階

TEL：044-520-9641 FAX：044-520-9660

E-mail：sip_ceATerca.go.jp (ATを@に変換してください)

研究開発とSociety 5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE)
令和6年度公募 採択研究開発プロジェクト及び研究開発責任者

募集施策・テーマ
施策1：金融/投資機関による自然関連情報開示促進と国際標準化を前提としたネイチャーフットプリントの開発と実証事業
テーマ1：LIMEをベースとしたネイチャーフットプリントの開発
テーマ2：ネイチャーフットプリントを用いた金融/投資機関における活用のための実証事業
施策2：ネイチャーポジティブ経済移行戦略を踏まえた、各セクターにおけるルールメイキングと市場創造のための戦略検討促進事業
施策3：バリューチェーン循環性指標及び企業情報開示スキーム等の国際標準化

○公募期間

施策1及び3：令和6年7月19日（金）から8月22日（木）まで

施策2：令和6年7月19日（金）から9月2日（月）まで

施策・テーマ	研究開発プロジェクト名	研究代表機関名	研究開発責任者
施策1 テーマ1	LIMEを拡張したネイチャーフットプリント用影響評価手法の開発	早稲田大学	伊坪 徳宏
施策1 テーマ2	ネイチャーフットプリントを用いた金融/投資機関における活用のための実証事業	株式会社価値総合研究所	山崎 清
施策2	ネイチャーポジティブ経済移行戦略を踏まえた水産業（養殖業）におけるルールメイキングと市場創造のための政策提案	EY新日本有限責任監査法人	ユー イヴォーン
	ネイチャーポジティブな一次産業と流通・消費にかかる技術市場・ビジネススキームの構築に向けた戦略検討	いであ株式会社	幸福 智
	日本企業がウォーターポジティブ国際市場をリードするための戦略研究	日本工営株式会社	小川田 大吉
	大規模産業立地による地域の自然資本の損失を回避・軽減・復元するための流域圏のステークホルダー連携による自然に根ざした共同行動のモデル研究	熊本県立大学	島谷 幸宏
	ネイチャーポジティブ経済実現に向けた国際ルールメイキングによる市場形成と戦略立案による市場獲得のための横断・基盤プロジェクト	東京大学	石井 菜穂子
施策3	バリューチェーン循環性指標及び企業情報開示スキーム等の国際標準化	株式会社野村総合研究所	大向 望

研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム (BRIDGE)

令和6年度選考・評価委員会 委員

- 施策1：金融/投資機関による自然関連情報開示促進と国際標準化を前提としたネイチャーフットプリントの開発と実証事業
- 施策2：ネイチャーポジティブ経済移行戦略を踏まえた、各セクターにおけるルールメイキングと市場創造のための戦略検討促進事業
- 施策3：バリューチェーン循環性指標及び企業情報開示スキーム等の国際標準化

- ◎ 高岡 昌輝 京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 教授
- 藤井 健吉 花王株式会社 研究開発部門 研究主幹/研究戦略・企画部 部長
(レギュラトリーサイエンス担当)
- 星野 一昭 国際自然保護連合 (IUCN) 理事
- 森田 香菜子 慶應義塾大学 経済学部 准教授

(以上4名。五十音順。◎は委員長)